

はまかぜの会会員が紹介します。

広岡達朗著『中村天風 悲運に心悩ますな』

日本シリーズでの衝撃が

## 「私の運命を変えました」

紹介者：大澤賢二(仮名) 55歳 平成29年入会

弱小球団ヤクルト・スワローズを率いて  
知将・上田監督が率いる阪急の4連覇を阻止した

**広岡達朗**が

「天風の教えが私の野球人生を変えた」  
と書いています。

昭和53年日本シリーズ第7戦のことでした。

4連覇に王手をかけた阪急の上田監督が、ヤクルトの大杉選手が打ったホームランを巡って「あれはファウルではないか！」と猛烈に抗議したのです。上田監督は選手をベンチに引き上げさせてガンガン抗議。騒然とする中で試合継続を促す為にコミッショナーまでが出てくる事態へ。

再開までに1時間19分も試合が中断するという、記憶に残る前代未聞の試合になりました。結果はヤクルトの勝利。

抗議してセカセカと動き回る上田監督に対して、  
他人事のように穏やかな表情で、

紛糾するグラウンドを泰然とした態度でじっと見ていたのが広岡達朗監督でした。

その様子を見ていた、当時中学生(15歳)だった私は、

「この人は何故こんなに冷静でいられるのだ？」

「広岡監督とは一体どんな人物なんだろう？」

と、衝撃を受けたのです。

当時、同級生が江川、田淵、王だと騒いでいた中で、

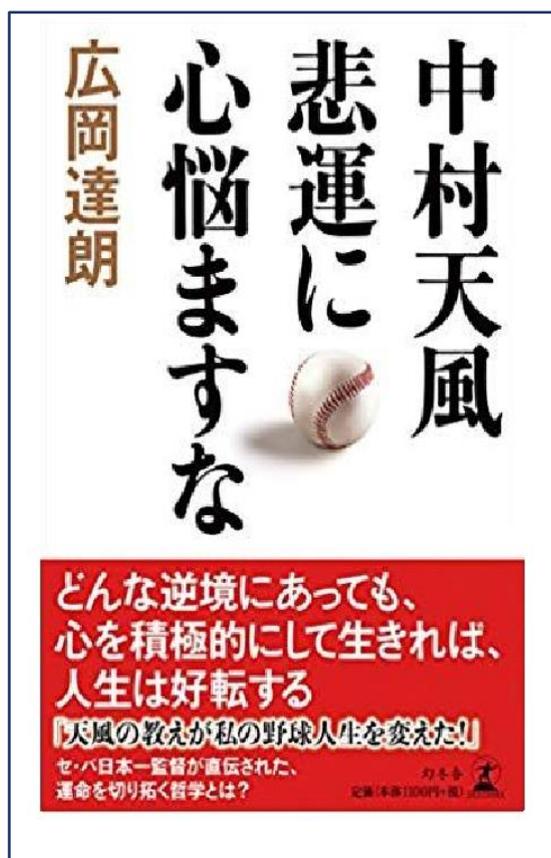
私はその日以来、広岡監督の大ファンになり、広岡監督の著書を読むようになりました

その中で毎回必ず登場するのが**中村天風**という人だったのです。

「一体どんな人物なんだろう？」 インターネットが無かったその頃、

地方の田舎町に住んでいた私は、自転車を走らせ、汗だくになりながら書店を10軒近く回り、  
ようやく中村天風の本を見つけることができました。

「これで広岡達朗に影響を与えた中村天風という人を知ることができる」と  
思ったのですが、、、



その本は、誦句を中心とした紹介本でした。

う～ん、「尊く清く正しく」。

小学校の体育館に掲げられるような言葉で、偉大な広岡監督が形成されたのか？

「そんなはずはない。広岡監督には、きっとわれわれ一般人には知ることができない、何か特別な教えを受けているのだ」

そう思い、その本を閉じ、書棚に戻してしまいました。

さて、時は流れて55歳の春。

2人の子供も大学を卒業して、定年間近な、すっかり疲れ切った私。

久しぶりに広岡さんの本が読みたくなり、

自宅の本棚から「監督論。『人は育つ』ことを選手に教えられた」を出してみました。

何度も繰り返し読んでいた本なのですが、その時は不思議に中村天風の紹介文が引っ掛かりました。

そこで**中村天風**と、インターネットで検索すると、

**広岡達郎著『中村天風 悲運に心悩ますな』発売予定**、と。

…おまえはほんとうに馬鹿だなあ。40年たってもまだわからないのか。

俺がわかりやすく書いてやるから読んどけ……といわんばかりのタイミング。

私は近くの本屋へ行き、予約を入れ、発売と同時にその本を夢中になって読みました。

40年前の謎はきれいに解明され、夕方には再度書店へ行き、

『**運命を拓く**』を購入しました。

その後は、中村天風の本をむさぼるように読みました。

本を読んでいく中、天風会の存在を知り、

横浜でも講習を受けられることを知りました。

広岡さんの著書、

はまかぜの会の鷹野代表、萩原講師のわかりやすい丁寧な説明でスムーズに天風会に溶け込むことができました。

中村天風の教えは理屈だけでなく、実践を中心とした内容は明快で、日々少しずつですが、自分自身が変わっていくのがわかりました。

それからは、日々漠然と意味なく生きるのではなく、

明確な人生の目的を持ち、感謝と喜びの毎日を送ることができるようになりました。

現在は、何年後かの行修リーダーをめざして奮闘中です。

皆さんも是非一緒に心身統一法を学びましょう。

最後まで読んでくださって有難うございます。

